



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和5年10月3日

No.10



9月22日(金)に全クラスで「SNSで情報を発信する際のリスクと責任について」考えました。「これくらいなら大丈夫だろう」という危険性を見積もりの甘さが、ネットの世界でのトラブルを引き起こす要因になっています。情報を「公開する範囲」やその範囲での「リスクの程度」を考えたことで、「これくらいは大丈夫だろう」という判断の甘さに気づき、自分の意志で判断しながら行動する力をつけていきたいと思います。



自分の意見と同じ人がいるのはすごく安心できたり嬉しくなったりするのかもしれないけど、自分の意見を発信する相手を考えないといけないと思いました。また、私も「自分の気持ちを通したい」とか「絶対こっちの方が良い」とか思っているけど、違う考えを持った人がいるということを考えてから発言できるようにしていきたいです。



日常のことを他の人に知ってもらいたいという気持ちは悪くないと思うけど、そういう時は家族や周りの人に言う方がいいと思いました。SNSは誰でもできるけど、その分のリスクも大きいから自分も何か発信するときは気を付けたいです。

インターネットやSNSを使うには、しっかり使う必要がある。どのような言葉で表現するのか、その言葉で誰かを傷つけないか、自分の情報は守られているか、など考えて使いたいです。これからは、もっと情報通信は発達します。正しく使っていきたいです。

すぐに誰かも分からない人に共感を求めるのが良くないと思った。発信する際にリスクと責任を考えないと後々大変なことになると分かった。

SNSは自分の思いをたくさんの人に共有できるのは便利なものだけど、思ったことを何も考えずに発信してしまうと、それによって嫌な思いをする人がいるかもしれない。だから、発信する前に一度立ち止まって、本当にしていることが判断できるように心掛けることが大切だと思う。



SNSは様々な人が見るということを忘れてしまうことが多いから、それをまず頭に入れて、メリット・デメリット、誰にどのような影響が起こるのかを考えながら、責任を持って利用すべきだと思った。



思ったことを何でもかんでも SNS に発信することは、時に自分では責任を取れないことになってしまう可能性がある。だから、発信する前によく考えて、その投稿を見たときにどう思うのかなど、色々なことに配慮できるようにすることが必要だと思った。

SNS というのは、悪口や人が傷つくことを書く場所じゃないから、そういうことを書かないで使用していく情報モラルが大切だと思った。トラブルにならないように使用していきたい。

今日の授業を通して、改めて SNS などの情報は信じすぎず、自分が見て分かったことだけを信じるべきだと思いました。また、自分の言葉一つひとつに責任を持ち、一人でも傷つく言葉ならばその言葉を控えるべきだと思いました。

今の時代、SNS はすごく身近なものだからしっかりと向き合っていないといけない。自分だけが良ければいいのではなく、周りの人もいることを考え、使い方に注意したい。

SNS を使いこなしていると思っていても、全然使いこなせていないと感じながら利用していく。

今日は改めて SNS の怖さや自分が怖い思いをしないようにするにはどうすればいいかをグループで話し合いながら解決策を考えることができました。私も SNS は生活の中で使っているものなので、使い方によっては自分にとって便利なものから恐怖を感じるものになると思うので、上手く付き合っていけたらいいなと思いました。

普段の会話の中で、人や環境によって口にする内容を取捨選択する。SNS 上では、その行動をより慎重にすべきだと思った。SNS はつながっていて、やろうと思えば誰でも繋がれる。身近な存在だが、気安く行うものではないと感じた。

SNS は慎重に扱うべきだと思う。マイナスな発言はたいして共感されないし、不快な気持ちになる人の方が多いので発信しない。たくさんの人に見られるところへ書きこむべきではない。